

平成30年度 FCP活動の主な取組



1. 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
2. 若手フォーラム
3. FCP食品安全専門人材育成研究会
4. こども霞が関見学デー
5. FCPホームページによる情報発信

各取組の詳細は、FCPホームページ（以下URL）をご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/whats_fcp/katsudou_2018.html

平成30年度 F C P 活動 全体図



F C P 活動

食品事業者の取組向上

勉強会・研究会

FCPツールの活用 (HP)

民間認証活用

5つの基本原則の普及

HACCP研修

HACCP手引書作成

地域ランチ

人材育成

若手フォーラム

国際人材育成

産学官連携による
人材育成

業界内効率化

監査標準化
(民間認証活用)
JFSMと協力

消費者普及促進

こども霞が関見学デー

- ・ 地方自治体
- ・ 大学等学術機関
- ・ 他省庁
- ・ 関連団体

連携

F C P 情報共有ネットワーク参加企業・団体
農林水産省 F C P 事務局

平成30年度 FCP研究会・勉強会活動スケジュール(予定)



平成30年

平成31年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1回 FCP基礎講座・ 知見の蓄積勉強会 5/29			第2回 新たな 知見の蓄積勉強会 調整中			第3回 新たな 知見の蓄積勉強会 調整中			FCP活動成果報告会	
			第1回 若手フォーラム 7/6		第2回 若手フォーラム 9/7	第3回 若手フォーラム 10/12	第4回 若手フォーラム 11/16		第5回 若手フォーラム 1/18		
				産学官連携 FCP食品安全専 門人材育成研究会 8/1 8/2	9/28						
				こども霞が関 見学デー							

(参考) FCP 紹介チラシ

食の安全・信頼について こんな悩みはありませんか？



フード・コミュニケーション・プロジェクト (FCP) は

食に携わる皆さんの悩みや課題に対して

食の安全・信頼に関する情報や意見交換の場を提供しています。

消費者の方々の食の信頼を高めていくためには、フードチェーンに関わる皆さんの
意欲的な取組が重要と考えます。FCPは農林水産省が提供するプラットフォーム
の下に、食に携わる皆さんが「協働」で主体的に活動するプロジェクトです。

参加は無料！！ 詳しくはホームページにて

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/>
ホームページの詳しい情報は裏面をご覧ください

FCPの
ホームページでは
食の安全と信頼向上
につながる情報を
発信しています！

そもそも
FCPって？

どんな企業が
どんな取組を
しているの？

HACCPの制度化に
向けた研修はないかな？



食の安全と信頼の向上のために
私たちは食品事業者の食の信頼向上の取組を応援します

最新情報

- ・ 食の安全と信頼の向上のために (4月16日)
- ・ FCP事務局「食の安全と信頼の向上のために」の開催について (4月16日)
- ・ HACCPの制度化に向けたステップ「ステップ1」HACCPの導入について (4月16日)
- ・ 食の安全と信頼の向上のために「食の安全と信頼の向上のために」について (4月16日)

よく使われるFCPツール



商談会で当社の商品や取組を
しっかりアピールしたい！

FCPにはどんな企業
が参加しているの？
うちの県からは？

【主な発信内容】

- ・ イベント開催情報
(FCP主催の勉強会・研究会、企業行動室が主催・協力する説明会・研修等)
- ・ FCPの活動紹介
(FCPの考え方、活動内容、参加企業の取組事例等)
- ・ 標準化、見える化のための各種ツール
- ・ メールマガジン
- その他、新着情報から、HACCPによる衛生管理に関する情報やJFS等の
食品安全管理規格・認証スキームに関する情報等を発信

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/>

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/>

(参考) 食品についての「安全」と「安心」の関係

客観的



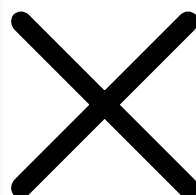
安 全

その時点で最善
の科学により
評価・決定



信 頼

- 行政、食品事業者等の誠実な姿勢と真剣な取組
- 消費者への十分な情報提供



主観的



安 心

消費者の
心理的な判断

(参考) F C P 行動指針



FCPに参加する者は、FCPの基本理念に則り、以下の行動指針を遵守するものとします

1. 消費者の食に対する関心や期待に向き合い、「食」に対する信頼の向上に主体的に取り組みます。
2. 消費者の「食」に対する信頼の向上という共通の目的のために、業種・業態等の立場や利害の違いを超えた協働を進めます。
3. 協働による相乗効果を発揮するために、公平性、透明性を重視するとともに、多様性を尊重し、お互いにとってより良い解(WIN-WINの関係)を探す姿勢を保ちます。
4. 「協働の着眼点」を、社内、事業者間、さらに、消費者とのコミュニケーションのツールとして活用し、協働の取組みを進めるためのツールとしても積極的に活用します。
5. 「協働の着眼点」の活用を拡大、発展させていくため、その活用に関する情報共有や意見交換に努めます。
6. 法令を遵守することはもとより、「食」に対する信頼の向上に関わる事業者としての社会的責任を意識して行動します。
7. 「食」に対する信頼の向上を終わりのない挑戦と捉え、「協働の着眼点」の改善に寄与するとともに、FCPの持続的発展に貢献します。